

田原市芦ヶ池農業公園（サンテパルクたはら）基本構想

【目的・基本方針】

(1) 基本理念とリニューアルの目的

サンテパルクたはらは、平成7年に“『農業』をテーマに新しい価値の創造”という基本理念のもと、魅力ある農業・農村を創造するための拠点として開園した。

<基本理念>『農業』をテーマに新しい価値の創造

- ① 都市と農村の交流の場をつくる：都市住民や子どもたちにとって新しい価値
- ② 地域農業者の技術・情報・研修の場をつくる：地域農業者にとっての新しい価値
- ③ 新たな地域産業・地域農畜産品を振興する：地域農業にとっての新しい価値
- ④ 安らぎのある健康的な農村環境をつくる：来園者にとっての新しい価値

開園から20数年が経過し、社会情勢の変化や、経年の劣化により施設の老朽化等の課題を抱えており、運営面でも効率的な施設管理が求められている状況を踏まえ、目的型施設としての更なる魅力向上を図るため、以下の4点を目的として、サンテパルクたはらのリニューアルに向けた基本構想を策定する。

<リニューアルの目的>

- ① 施設の経年劣化等に応じた課題解消：施設の老朽化対策やバリアフリー化などの基本的な施設の改修
- ② 集客、交流人口の増加：既存施設の充実や、新施設・機能の導入による更なる魅力向上に向けた見直し
- ③ 持続可能な施設運営：持続的に施設を運営し維持していくための健全な施設運営・管理に向けた改修等
- ④ 田原市の農業発展等：農業日本一のブランド化・新規就農者支援等、田原市の農業の発展やPRに繋がる機能の見直しと人口増加への足掛かり

(2) リニューアルに向けた基本方針

<リニューアルコンセプト>

“日本一の農業”に触れて家族でのんびり過ごせる農業公園 ～農業の新しい価値を体感し共有できる場づくり～

家族連れ（親子、祖父母と孫、3世代、夫婦）を中心に、サンテパルクたはらで楽しみながら1日過ごし、田原市の“日本一の農業”に触ることで、農業への関心や親しみ、また就農意欲などが深められる滞在性を高めた目的型施設として、魅力の向上と機能充実を図る。

<目指す方向性>

【目標1】安心・安全の確保と、誰もが快適に過ごせる公園づくり

安心して快適に利用できる施設として基本的な改修とバリアフリー化等による安全性・利便性の向上

【目標2】施設の滞在性・独自性の向上を目指した持続可能な公園づくり

現状の機能の見直しと、新施設・新プログラム等の導入による滞在性・独自性の向上と効率的な運営

【目標3】田原市全体の振興につながる公園づくり

田原市の農業（農畜産物）のPR・情報発信、食育・花育の推進、観光振興等につながる施設運営

<リニューアルによって実現される施設像（効果）>

施設利用者にとって

- ▶ 誰もが利用しやすく、安心安全に過ごせる施設
- ▶ 田原市の農業を知り、体感できる施設
- ▶ 園内で一日楽しく過ごすことができる施設
- ▶ 雨の日でも快適に過ごすことができる施設
- ▶ リーズナブルに楽しめる施設

農業に関わる人にとって

- ▶ 気軽に農業に触れ、学ぶことができ、農業の体験・研修・交流等ができる施設
- ▶ 魅力的な産直機能を備え、出向の意欲が高まる施設
- ▶ 農畜産物のPR・流通・販売の促進につながる施設
- ▶ 生産者が農業従事への誇りと喜びを実感できる施設

施設運営に関わる人にとって

- ▶ 効率的な施設運営（管理）と健全な経営ができる施設
- ▶ 地域に必要とされ、地域の振興につながる施設
- ▶ 他施設との連携、周辺施設等との連携による相乗効果が発揮できる施設
- ▶ 交流人口が拡大し、田原市の人口増に寄与する施設

“日本一の農業”を支える田原市の農業交流拠点

農業への興味・関心の醸成

農業を行うことの誇り・価値の醸成

田原市で農業をしたい人の増加

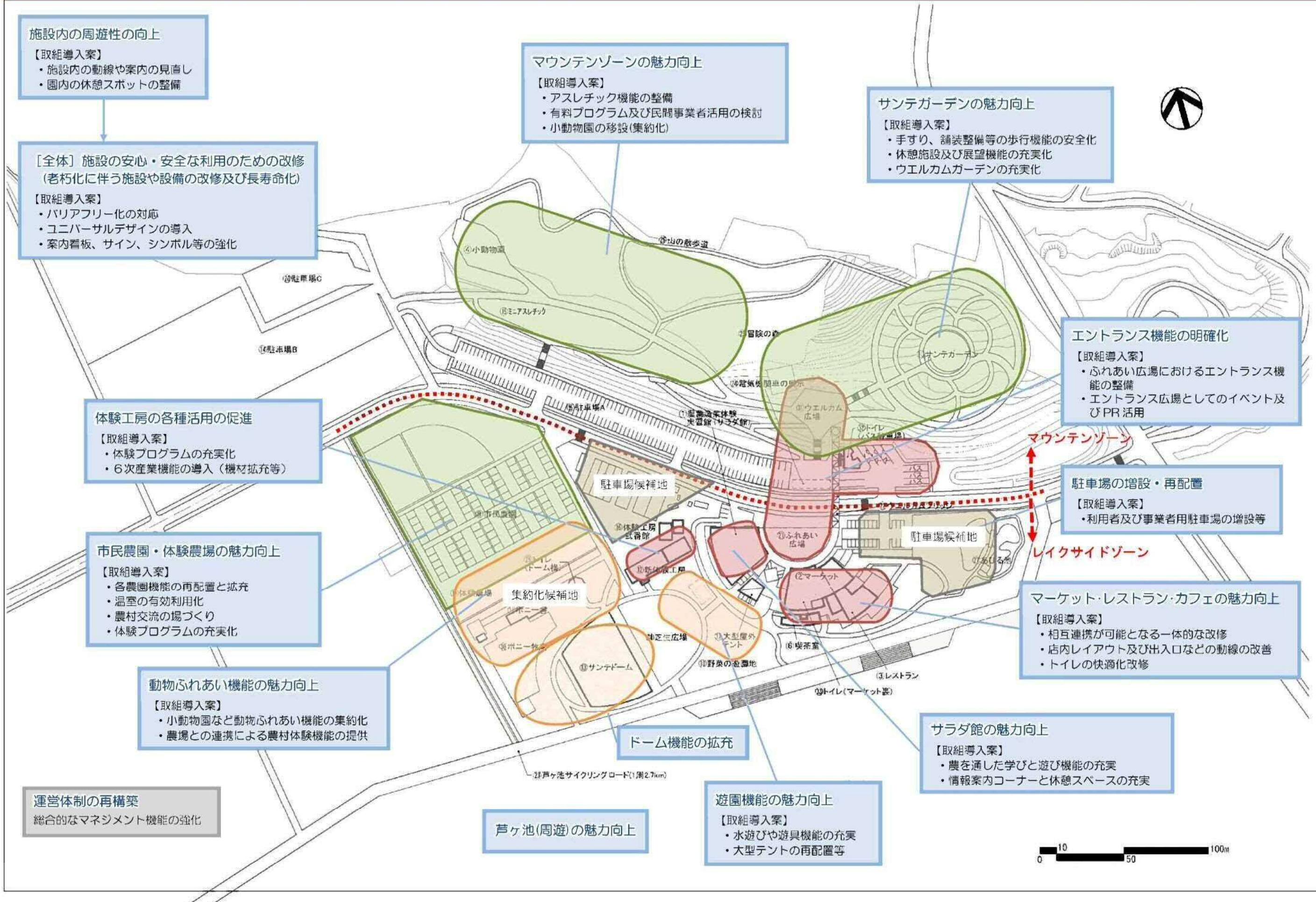
田原市の観光振興の一翼を担う観光交流拠点

来園者の増加・施設満足度の向上

市の魅力や農業（農畜産物）のPR

田原市への交流人口・関係人口の拡大

コンセプト・目指す方向性	展開方向	取組項目	取組導入案	
“日本一の農業”に触れて家族でのんびり過ごせる農業公園 △農業の新しい価値を体感し共有できる場づくり△	【目標1】 安心・安全の確保と、誰もが快適に過ごせる公園づくり	【展開1】 施設内の動線・案内の見直し	①駐車場の増設・再配置 ②ふれあい広場、ウェルカムブリッジのエントランス機能の明確化と周辺改修 ③案内看板、サイン、シンボル等の強化	●レイクサイドゾーン側に駐車場を新設・拡張 ●ふれあい広場におけるエントランス機能の整備 ●サンテガーデン等へ誘導するウェルカムガーデンの拡充化
			①老朽化に伴う施設・設備の改修及び長寿命化 ②バリアフリー化の対応とユニバーサルデザインの導入	●施設の長寿命化改修（園路の凹凸、雨漏り、階段等） ●老朽化した設備の改修（トイレ、照明、各種設備類） ●バリアフリー補修、通路整備、手すりの設置、散策路の舗装改修 ●エレベーター機能の拡充など移動手段の円滑化
			①農園機能の再整備、『農』の交流と体験の場の新たな創出 ②体験メニューの充実と芦ヶ池周辺エリアのシンボル化	●市民農園・体験農場・温室等の再整備、交流の場づくり ●動物ふれあい機能の集約化
	【目標2】 施設の滞在性・独自性の向上を目指した持続可能な公園づくり	【展開3】 農園及び動物園等の再配置と機能充実	①遊びを通して農業を学び・体感できる機能の拡充 ②情報案内コーナー及び休憩スペースの充実	●“日本一の農業”を体感でき、「農」を学び「農」で遊べる体験型展示として再整備 ●情報案内機能の拡充、滞在性を高める休憩スペースの充実化
			①マーケットの拡充と機能改善、売場内のレイアウト・出入口等の動線の改善や買い物環境の向上化 ②レストラン・カフェの集約化と厨房機能の充実	●マーケット・レストラン・カフェを一体的な空間として再整備、レイアウト・動線の見直し ●市の農畜産物のPR、効果的な販売機能の充実化 ●レストランスペースの拡充（テラス席、厨房、トイレ等） ●マーケット・レストラン・カフェの連携機能を強化
	【展開4】 サラダ館の改修による魅力化	【展開5】 マーケット・レストラン・カフェの改修による魅力化	①サンテガーデン周辺の滞在性の向上 ②季節の花の展示方法の充実	●安全性の向上に向けた散策路の改修（手すり・舗装面・休憩所等）、くつろぎスペース及び展望機能の拡充 ●サンテガーデンへの導入部となるウェルカムガーデンの充実化 ●季節の花による装飾や展示の充実化
			①遊具等の再整備（アスレチック） ②山の散歩道の整備 ③マウンテンゾーンを活用した里山体験プログラムの充実	●アスレチック遊具の再整備、有料アスレチック等の導入検討 ●山の散歩道の整備（ベンチ、サイン、木階段等の配置） ●里山体験メニューの開発、手作り体験等のプログラム整備
	【展開6】 ウェルカムガーデン・サンテガーデンの魅力化	【展開7】 マウンテンゾーンの魅力向上	①遊園機能の魅力化、ドームエリアの充実 ②自転車利用による誘客促進 ③場の魅力・特性を活かしたプログラム等の充実	●水遊びや遊具機能をファミリー広場として充実化、ドーム機能の拡充 ●レンタサイクルとサイクルステーションの整備 ●芦ヶ池親水空間としてサンテロード（周遊）の魅力の向上化
			①1次産業から3次産業まですべてを実践できる6次産業プログラムの充実 ②地域住民との交流や連携を図るイベントやプログラムの導入	●6次産業プログラムの開発（生産、加工、花摘み等の体験等） ●加工機器の導入（ジャム・ジュース・惣菜・パン等の製造機等） ●地域住民等を巻き込んだイベント・プログラムの実施 ●各種イベント活用によるサンテドームの有益活用の促進
			①HP、ガイド等のデザインの刷新と公式SNSによる情報発信 ②農畜産物や特産品の情報発信とマーケットでの販売の促進 ③関連HP等と連携した体験プログラムのPR	●イメージデザインの見直し、HPの充実、SNSの活用等 ●渥美半島たはらブランド等の販売促進・PR ●体験プログラム（たはら巡り～ななど）との連携・情報発信 ●移住・定住促進につながる情報発信
【目標3】 田原市全体の振興につながる公園づくり	【展開9】 農を生かした交流プログラムの強化	【展開10】 情報発信と他施設との連携強化	①HP、ガイド等のデザインの刷新と公式SNSによる情報発信 ②農畜産物や特産品の情報発信とマーケットでの販売の促進 ③関連HP等と連携した体験プログラムのPR	●イメージデザインの見直し、HPの充実、SNSの活用等 ●渥美半島たはらブランド等の販売促進・PR ●体験プログラム（たはら巡り～ななど）との連携・情報発信 ●移住・定住促進につながる情報発信

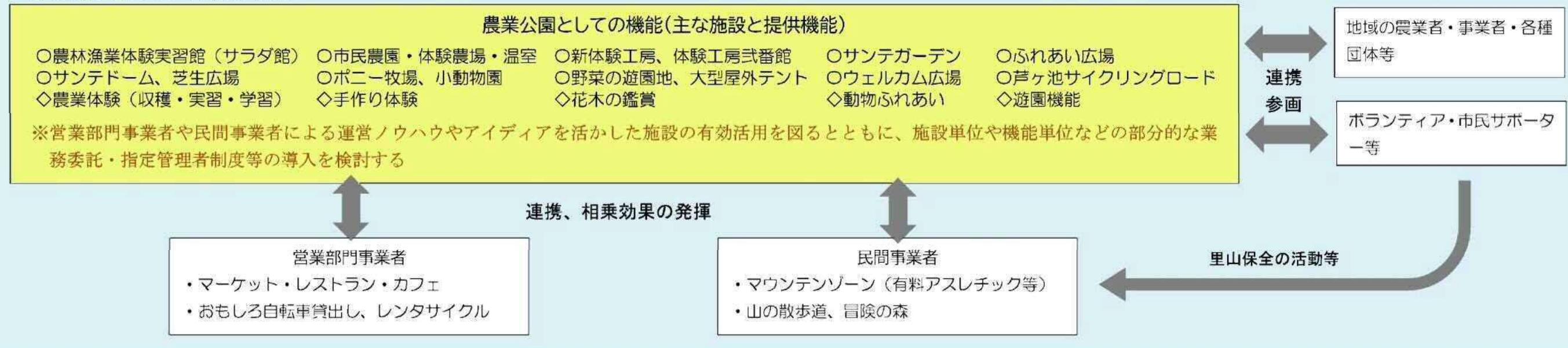


(1) 運営体制の再構築

方針 農業公園として、農業を通した公益的機能を確保(実践)しつつ、施設運営における民間活力の導入を積極的に進めるとともに、地域の農業者等との連携を強化し、効率的な運営を目指す。

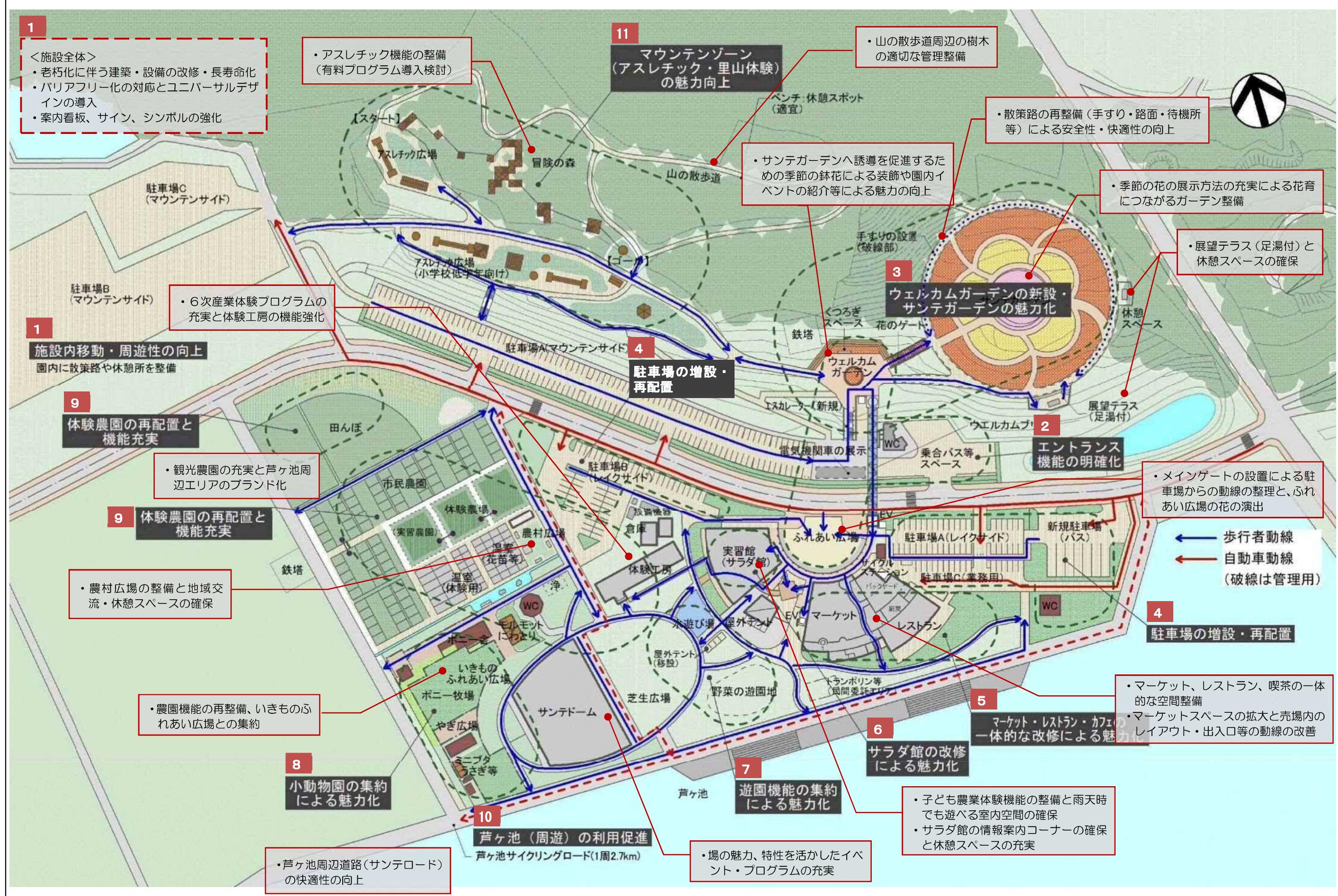
なお、リニューアルの推進にあたっては、新型コロナウイルス感染症の予防対策及び新しい生活スタイルの実践など、社会構造の変化等を十分に捉えたうえで進めるものとし、運営体制の再構築においても同様の観点を重視して検討・調整等を進めるものとする。

<総合的なマネジメント機能の強化>



(2) 事業スケジュール（案）

目指す方向性	展開(取組項目)	構想～計画期間	実施初年度	2	3	4	5
【目標1】 安心・安全の確保と、誰もが快適に過ごせる公園づくり	【展開1】施設内の動線・案内の見直し	構想～計画期間 適宜対応 リニューアル全体計画作成 検討・調整等	設計	工事			
	【展開2】経年劣化箇所の改修と人にやさしい施設整備		計画的に改修を実施				
【目標2】 施設の滞在性・独自性の向上を目標とした持続可能な公園づくり	【展開3】農園・動物園等の再配置と機能充実	芦ヶ池農業公園基本構想策定	設計	工事			
	【展開4】サラダ館の改修による魅力化		設計	工事			
	【展開5】マーケット・レストラン・カフェの改修による魅力化		設計	工事			
	【展開6】ウェルカムガーデン・サンテガーデンの魅力化		設計	工事			
	【展開7】レイクサイドゾーンの有効活用		整備運営手法検討	設計	工事		
【目標3】田原市全体の振興につながる公園づくり	【展開9】農を生かした交流プログラムの強化	検討・試行	実施				
	【展開10】情報発信と他施設との連携強化						
運営体制の再構築	総合的なマネジメント機能の強化	検討・調整等	実施				



田原市芦ヶ池農業公園（サンテパルクたはら）基本構想

【リニューアル後の施設図面②】

